

ダバオ市におけるバジャウの不平等化

——主観的評価による社会的地位の序列に関する分析——

あお やま わ か
青 山 和 佳

はじめに

- I 分析の枠組み
 - II 調査の経緯
 - III 調査の結果
 - IV 社会的序列と生業グループとの対応
- 結 語

はじめに

本稿の課題は、フィリピンのダバオ市におけるバジャウ (Badjao)^(注1) 内部における主観的な社会的地位の序列に関する分析を行い、現地の政府当局や NGO など援助主体からしばしば一様に最貧困層と考えられがちな彼らの内部に、実際には都市経済への多様な適応状態が存在し、結果として不平等化が進んでいることを明らかにすることである。具体的には、社会学的アプローチを援用しながら、不平等の存在を社会的地位の序列の存在と読み替えて、それに関するバジャウ住民の主観的評価に関する実態調査の結果を分析することによって、そうした社会的地位の序列の上下がどのような指標に基づいて認識されているのか探りたい。バジャウ自身がどのような暮らしぶり——あるいは、生活水準といってもよい——を好ましいもの、あるいは好ましくないものと考えているか把握するためである。それが移住者である彼らの移住前の生

活様式や価値観と比べてどのように変化しているのか探る試みでもある。さらに、分析の結果から、こうした社会的地位の序列が生業グループと対応していることを示し、経済活動の内容や水準こそがよい暮らしぶりを考える上で重要であると認識されていることを明らかにする。

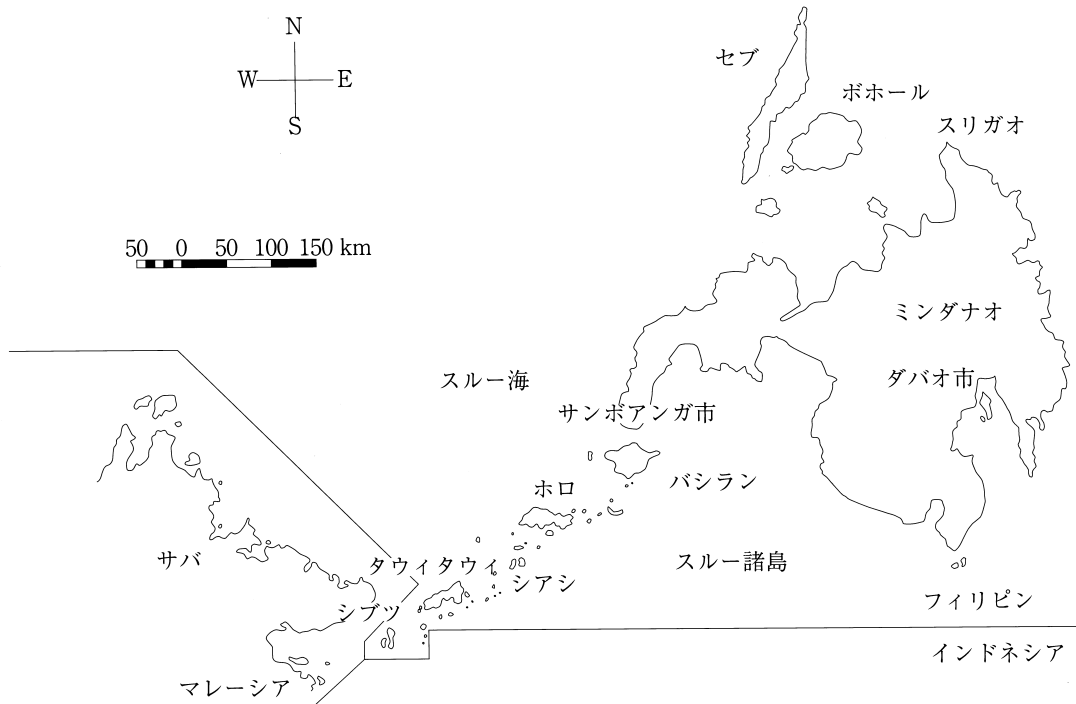
本稿で扱うバジャウの生業は、ダバオ市移住前は大半が漁業であったが、移住後は漁法を変化させたり、非漁業を含むいくつかの生業に転換したりするケースが少なくなかった [青山 2001]。所得の高さは生業の種類によってばらつきがあったから、生業の多様化が、伝統的には緩やかで水平的な社会組織をもち、いわば平等な社会であったバジャウ社会 [Arce 1963; Sather 1978; Nimmo 1990; Bottignolo 1995 参照] に、不平等意識を芽生えさせた可能性がある。近代化による陸地定着化にともないバジャウ社会内部の不平等化が進んだことは、先行研究の指摘するところでもあるが [鶴見 1998, 400 参照]、それを具体的なデータをもって検証した研究はまれに思われる。

ここで、本稿でいうバジャウと文献におけるサマ (Sama) の関係を整理しておきたい。まず、バジャウとは、過去の漂海民研究 [Lapian and Nagatsu 1996 参照] では、サマ語 (Sinama) を話す人々のうち、とくに家船生活者として特徴

づけられる海サマ (Sama Dilaut) を指すことが多く、一般には海のジブシーといったイメージで知られる。しかし、近年の研究では陸地定着化の進行、他民族集団との関係の変化などを背景に、バジャウとよばれる人々の実態も変化、多様化しており、もはや実体的観点だけからバジャウという概念を整理することは難しくなっているという現実がある^(注2)。本稿で「バジャウ」とよぶ集団も例外ではなく、漂海経験者以外にも、陸に定着して暮らしていたサマ (陸サマ) でダバオ市に来てからバジャウと呼ばれるようになった集団も含まれている^(注3)。そのため、バジャウという呼び名だけから彼らの出自を正確に突き止めることはできないが、ここで大雑把に調査地の「バジャウ」の位置づけを示しておく。まず、サマ語族であることは確かだ

ある。彼らが話すサマ語は、南部フィリピン、マレーシア領ボルネオ、東インドネシアで使用され、タウスグ語、マレー語の影響を受けている [Akamine 1997]。国家における民族別統計という観点からみると、フィリピン政府公刊の1995年センサスでは、同国のサマ語系人口は3つに分かれて記載されている。すなわち、「サマ」^(注4) は総人口 (6843万1213人) の0.27% (推定18万4764人)、「バジャウ」 (Badjao/Sama Dilaut) は同0.25% (17万1078人)、陸サマのサブ・グループである「サマ・ディラヤ」 (Sama Dilaya) は同0.07% (4万7901人) である。一方、学術的研究における従来の整理に照らそうとするならば、たとえばニンモが提唱し [Nimmo 1968]、その後、多くのバジャウ研究者に踏襲されたサマを北方と南方で異なるとす

図1 ミンダナオ・スルー諸島



る地理上の分類がある。これによれば、本稿で扱うグループはホロ (Jolo) やシアシ (Siasi) 以北に分布し、フィリピン内海を移動する北方系サマに該当する (図1)。従来のサマ研究の多くは、タウィタウィ (Tawi-Tawi), シタンカイ (Sitangkai), サバ (Sabah), スラウェシ (Sulawesi), カリマンタン (Kalimantan) などを移動する南方系サマを対象とするものであり、北方系サマについては蓄積が少なかった。また、漂泊性漁民としての伝統的文化に注目したものが多く、本稿のように、治安の悪化から従来の居住地域を離れざるをえず、いわば難民^(注5)として都市に生きる少数民族サマ^(注6)に焦点をあてた研究はまだ乏しい。

本稿の構成はつぎの通りである。第I節では鍵概念の定義と調査仮説を示し、第II節で調査地の概要、調査の方法や評価者の属性など調査の経緯を説明する。続く第III節において、調査結果に基づく実証分析を行う。具体的には、評価カテゴリ数、標準化得点による世帯の分布を示し、評価行動と評価基準について検討したい。第IV節では、以上の手続きから検出された社会的地位の序列が5つの生業グループと対応していることを明らかにし、最後に結語として分析結果について若干の議論と今後の研究課題について提示する。

I 分析の枠組み

1. 鍵概念の定義——社会的地位の序列——

社会階級 (social class) や社会階層 (social stratification) の問題は、とくに社会学が関心とするものである。米国など先進国を事例とする社会学的研究は少なくないが、発展途上経済

の、それも先住民を対象とした実証研究は蓄積がない。

本研究が対象とするフィリピンを対象とする研究に限っていえば、代表的なものは Lynch (1959) と Eder (1982) であろう。前者はルソン島南部、ピコール州の水稲耕作地域にあるカナマン (Canaman) という町における低地キリスト教徒社会における調査結果に基づいて、当該地域に社会的・経済的・政治的に補完関係のある2つの社会階級が存在することや、そこにおける序列が往々にして個々の世帯がもつ富や経済的安定の程度に基づくことを明らかにした。後者は、パラワン島のフロンティア空間に移住してきたクヨのコミュニティにおける調査結果に基づいて、社会的不平等が社会的地位の序列として存在することを明らかにした上で、もともと文化的にも経済的にも同質であったクヨ社会がフロンティアで農業発展を経験するうちに不平等化が進んだ要因をおもに個人の動機に結びつけて論じた。

対象と問題意識は異なるが、リンチの研究もエダーの研究も、基本的には、社会学的な量的調査と人類学的な参与観察を含む質的調査を組み合わせた手法を用いている。ともに社会的地位の序列の存在を検証する部分では、客観的指標ではなく、対象社会に属する、いわば内部者である評価者の主観的認識に基づいて序列を検出する方法がとられている。また、どちらも社会的地位 (social status) の概念を、あるひとつの特定の基準——富、所得、威信など容易に確認できる変数——によって表わせる単純な指標 (simple index) ではなく、評価者が被評価者について知っている様々な情報をすべて、かつ同時に評定して得られる総合的指標 (composite

scale) と考えている。社会的地位のこうした把握は、“total status judgment”,あるいは、“overall social standing” とよんでもよい。本研究がいう社会的地位は、リンチやエダのこうした定義にならう。それがいったいどのような指標の総合なのか、という問題は、実際の調査を通じてのみ議論可能なものであり、第Ⅲ節以下の分析で明らかにしたい。

無論、不平等研究のよりポピュラーな手法として、所得や職業など客観的な指標から分析を行うことも可能である。筆者も本研究に先立ち、1998年の2月2日～3月6日にわたって基礎的な社会経済的特徴に関する世帯悉皆調査を調査地で実施した（以下、これを「基礎的世帯調査」とよぶ）。しかし、政府統計をベースとした標準的な質問項目を用いたため、バジャウと非バジャウとの社会経済的格差を検討する上で有効であっても、バジャウ内部の格差——フィールドにいて実感されるにもかかわらず——を把握できるほど精密ではなかった。のちに、客観的指標を再度収集することになるのだが、指標の選択にあたっては、筆者自身にとって帰属集団ではないことから生じる認識ギャップを避けたいと考えた [中西 1991, 20-21参照]。そのために、一度はバジャウ社会内部からの声をきく必要があり、本稿でとりあげる主観的評価による調査の実施に至ったという経緯がある。

つまりこの方法のメリットは、(1)被調査者の自己申告（主観）を重視するため、調査者が先験的に特定指標を組み合わせる操作が恣意的になり、対象社会の実態から大きく異なってしまう危険を回避できること、および、(2)経済的不平等だけではなく総合的な不平等を把握できること、の2点にある。デメリットは、主観的で

あり、総合的指標であるがゆえに、その結果をただちに客観的、あるいは単一の指標に還元し、対象社会の構造をつかむことはできない、という点にある。ただし、これについては、リンチもいっているように、総合といっても、それは複数の異なる指標をウェイトづけした上での総合であるとみなし、どのような指標がどのようなウェイトで総合されているのか推定するという調査上の工夫をもって臨めば、指標の取り出しがある程度は可能と考える。

また、この方法は、一見、かなりの部分を量的調査に依存するが、その設計、実施、結果の解釈において対象社会に関する一定の理解が不可欠である。つまり、この方法を用いるための前提として、対象社会における一定のインテグレーションが必要である。対象社会への理解を深める手段としても、また、この方法による調査の結果を検証する手段としても、ほかの調査との組み合わせでなされるのが好ましいであろう。

なお、社会階級、社会階層といった概念の理論的な議論については本稿の範囲ではないため、ここでは簡単に触れておくにとどめたい。リンチのサーベイを借りれば、社会階層 (social stratification) とは2つ以上の集団のあいだに何らかの非連続な、あるいは質的な違いがある場合を指す。社会階級 (social class) とは、社会階層のあり方のひとつで、2つ以上の性質の異なる集団が優位、劣位の順位づけをもって存在する場合であるという。換言すれば、リンチのいう社会階級とは、社会的勢力が異なり、場合によっては互いに権利義務関係が生じているような階層のあり方を指す。一方、社会的不平等 (social inequality) が社会階層として顕在し

ないこともあり、そうした場合には社会的地位の序列 (social ranking/social order), すなわち社会的地位のシステムが存在すると考えられる。つまり、個々人の社会的地位とは、その社会が想定するスケールの上に並ぶ順位の連続体における個々人の位置を表わす概念であるのに対し、その連続体を何らかの質的基準でいくつかの集団に分割できる状態を表わす概念が、社会階層、社会階級である [Lynch 1959, 5-8]。

2. 調査の仮説

本研究における調査の課題はつぎの通り。

(1) 調査地のバジャウ社会における社会的地位の序列の性質を明らかにする。

(2) そうした社会的地位の序列における個別世帯の配置 (placement) を明らかにする。

こうした課題をより具体的に作業仮説のかたちで述べると、つぎのようになろう。

(1) 調査地のバジャウ社会は、社会的に順位づけられる個別世帯から構成されている。

(2) 評価者のあいだで、各世帯の順位づけについて暗黙の合意がある。

(3) 評価者のあいだで、ほぼ共通した評価基準 (政治的, 経済的, 社会的基準など) がある。

II 調査の経緯

1. 調査地の概要

調査の舞台であるダバオ市は、フィリピン南部のミンダナオ島に位置し、ミンダナオ^(注7)の恵まれた自然条件と天然資源 (鉱物・水産など) を背景に、フィリピンの一次産業の要衝、および有数の港湾都市として発展してきた。1995年現在で約100万人の人口を擁し、単独の政令指定都市としては全国第4位の規模である。1995

年人口センサスによれば、同市の就業構造は農業志向型交易都市としてサービス業 (37.8%), 商業 (19.0%) と農林業 (25.2%) が大きく、工業は8.0%である。これに建設業7.6%, 漁業1.2%, 電気・水道・ガス業0.6%, 鉱業0.4%が続く。政府公刊の1997年家計所得・支出調査から住民の所得源をみると、住民をなす20万2983世帯のうち主に賃金・俸給から所得を得ているものが56.1%, 起業家活動が29.0% (うち農業6.6%, 非農業22.5%) であるから、自営業部門が雇用吸収に一定の役割を果たしていることがわかる。

人口学的にミンダナオ地域を眺めると、約6割を占めるセブアノのほか、ムスリム諸族のうち主要3大グループ^(注8)が全体の約15%, また非ムスリムの少数・先住民も4%ほどを占めるなど、多民族・文化的多様性をもつことが大きな特徴である [青山 1997]。この多様性は、しばしばキリスト教徒人口と非キリスト教徒人口のあいだの社会経済的格差としてあらわれる。非キリスト教徒人口の貧困問題は、ミンダナオ最大の都市であるダバオ市にあっては、ビサヤ諸島やミンダナオ他地域から流入する都市移住者の貧困問題の一種として不法占拠者居住区に顕在しやすい。本稿の調査地も政府の所有地に不法占拠者が居住するようになった場所でイスラ・ベレサ^(注9)という。ここはダバオ市の東部沿岸に横たわる砂州で、およそ9ヘクタールの面積に約1300世帯、計1万人ほどが暮らす。人口の言語族別内訳では、ムスリム諸族 (マラナオ, タウスグ, ラミヌサ^(注10)など) が全体の6割を占め、ダバオ市全体では圧倒的多数を占めるセブアノ語系キリスト教徒人口を上回っていることが特徴である^(注11)。調査地を管轄するバラ

ンガイ（末端行政単位）も首長ほか、8人の評議員のうち7人をマラナオが占めており、市内でもムスリム優勢地区とみなされている。イスラ・ベレサは市内でも貧困層が居住する地域として知られるが、なかでもバジャウ住民の貧困は際だっており^(注12)、キリスト教徒住民からもイスラーム教徒^(注13)住民からも憐憫、あるいは卑賤観をもたれがちな存在といわざるをえない。彼らは、市内では一般に「バジャウ」と呼ばれ、言語的な違いのほか、外見ではキリスト教徒やイスラーム教徒人口と比べてより褐色の肌、瘦身だが頑健な体格、赤茶けた髪や簡素な服装などで見分けられる。

イスラ・ベレサには、2つのバジャウ居住地がある。ともに海岸沿いであり、満潮時には1メートルから2メートル近くまで海水が満ちることもあるため、住居は杭上家屋である。ひとつはアラスカと呼ばれ、砂州の北東に位置する1ヘクタールほどの地域である。この地区では、広場を中心に杭上家屋が向かいあうかたちで建てられており、隣接する非バジャウ系住民居住区に対して閉じた構造になっている。もうひとつはアリーナ・ピカスと呼ばれ、ピカス（反対側）という名前の通り砂州の南東にある。こちらはセブアノやタウスグなど非バジャウ系住民居住区の中の海岸沿いに小さなバジャウ集住地として存在しており、外部に対してもむしろ開いた構造をもつ。世帯数は、アラスカで172、アリーナ・ピカスで12、イスラ・ベレサ全体で184である。表1と表2に、イスラ・ベレサのバジャウ地区住民の基本的属性を示しておく。

2. 調査の方法と評価者の属性

調査の設計と方法については、Lynch (1959) と Eder (1982) を参考に、調査地の実状に合

表1 イスラ・ベレサ、バジャウ地区住民の基本的属性

世帯数・人口	
合計	184
アラスカ	172
アリーナ・ピカス	12
1世帯当たりの構成員数（平均）	5.3
1世帯当たりの子供の数（平均）	3.5
バジャウ地区総人口	981
性別（対総人口比率）	
男子	51.7%
女子	47.5%
年齢	
平均年齢	22.5歳
年齢構成（対総人口比率）	
0～6歳	21.6%
7～15歳	16.7%
16～29歳	32.3%
30～49歳	21.0%
50歳以上	7.7%
就学経験年数（7歳以上対象）	
平均	1.0年
最頻値	0.0年
セルフ・アイデンティフィケーション （対総人口比率）	
サマ	97.8%
（陸サマ）	(65.1%)
（海サマ）	(32.7%)
ラミスサ	1.5%
セブアノ	0.5%
アタ	0.1%
宗教（対総人口比率）	
伝統的・土着信仰（オンボ）	80.3%
イスラーム教	10.8%
キリスト教	8.9%
ポーン・アゲイン・クリスチャン	(4.8%)
（ローマン・カソリック他）	(4.1%)
出生地（対総人口比率）	
ダバオ市以外	68.6%
ダバオ市	31.2%

（出所）筆者による「基礎的世帯調査」より作成。

（注）回答不明を含まないため合計は必ずしも100%とならない。

うように作り直して利用した。具体的にはつぎのようなものである。

表2 バジャウ地区世帯主の属性と地域間移動

世帯数合計	184
性別	
男子	89.1%
女子	10.9%
年齢	
平均値	40.0歳
中央値	35.5歳
最頻値	25.0歳
出生地	
ダバオ市	5.4%
ダバオ市以外	94.6%
移動歴（母数：移住者170）	
住居変更をとまなう移動回数	
平均値	1.4回
出生地	
南サンボアンガ州	78.7%
スルー州	12.6%
ボホール州・セブ州・スリガオ市	3.9%
ミンダナオ島内その他の諸州	3.5%
その他の地域	1.2%
現住所転入前の居住地	
南サンボアンガ州	74.7%
スルー州	9.2%
ダバオ市および南ダバオ州内	8.0%
ミンダナオ島内その他の諸州	2.3%
セブ州・スリガオ市	2.3%
マニラ首都圏および近隣	2.3%
出生地から転出した理由	
治安の悪化	66.7%
生活苦	14.4%
親族の呼び寄せ	8.6%
転入先で仕事を探すため	3.3%
結婚にともなう転居	2.9%
転入先で住居を探すため	1.2%
高潮に被災	0.6%
現住所に関する情報の入手方法	
家族・親族	82.8%
自分でみつけた（パイオニア移住者）	14.9%
友人・隣人	2.3%
現住所への転入時期	
1965～69年	1.1%
1970～74年	9.7%
1975～79年	8.0%
1980～84年	10.2%
1985～89年	14.8%
1990～94年	30.7%
1995～99年	25.6%

（出所）表1と同じ。

（注）回答不明を含まないため合計は必ずしも100%とならない。

まず、バジャウ地区——アラスカとアリーナ・ピカスの両方——の住民から20世帯、20名の評価者を抽出した。この数字は、評価の対象となる総世帯数184に対して10%の評価者抽出率をめざしたことによる。評価者の抽出にあたっては、前述の「基礎的世帯調査」の結果に基づいて、新規移住者を除いてから出生地、生業（労働力状態）、所得カテゴリの順に層化を行っ

表3 評価者の属性

	度数	比率(%)
全体	20	100.0
性別		
男子	11	55.0
女子	9	45.0
年齢		
20～29歳	5	25.0
30～39歳	6	30.0
40歳以上	9	45.0
既婚・未婚の別		
既婚	20	100.0
出生地（層化1）		
リオ・ホンド	5	25.0
ボスボス／ホロ	5	25.0
サンガリ	4	20.0
マルゴス・サ・トゥビグ	2	10.0
タルクサンガイ	1	5.0
その他	3	15.0
生業（労働力状態：層化2）		
主婦	5	25.0
漁業	4	20.0
古着販売業（ukay-ukay）	4	20.0
貝殻・真珠販売業	3	15.0
物乞い	2	10.0
マット織り	1	5.0
失業	1	5.0
所得カテゴリ*（層化3）		
50%（100ペソ未満）	8	40.0
75%（100～200ペソ）	5	25.0
100%（200ペソ超）	7	35.0

（出所）表1と同じ。

（注）* 評価者が属する家計の世帯主の生業からの1日当たり所得を4分位でカテゴリ化したもの。

てほしい評価者リストを作成した。実際には、リストを参考としながら、個人の率直さや年齢^(注14)、性別にも配慮して評価者を決めていった(表3)。調査が実施された期間は、1999年1月22日から4月27日である。筆者とセブアノ系キリスト教徒の調査助手が初めて調査地に入ってからすでに1年半を経過しており、筆者らはそれまでの継続的なフィールド・ワークを通じてすべての評価者、および被評価世帯について大まかな社会経済的特徴を把握しており、また日常会話が可能な程度の面識もあった。

つぎに、この20名の評価者を個別に家庭訪問し、バジャウ地区に住むすべての世帯の社会的地位について順位をつけてもらった。できるだけ評価者のプライバシーの確保に努めたが、バジャウの住居が一間構造である都合上、家族や隣人が居合わせることもあった。また、彼らの識字率は極端に低い。個別世帯ごとにその構成員の名前をB6サイズの紙に書き出したカードを用意し、私たちがそれを読み上げ、評価者がそのカードを世帯の社会的地位に応じて並べるという方法をとった。その際、つぎのような定型的な質問が導入に使われた。

(1)「どんな場所でも人々というものは互いに違うと思いますか？」

この質問は、個々人のあいだに違いがあると認識しているかどうかの確認である。評価者が同意したならば、つぎのように続ける。

(2)「ある人々は高く、ある人々は低いというように順位をつけることはできますか？」

この質問は、そうした個々人の違いが何らかの社会的地位の序列として表現できるかどうかの確認である。ここでは理解を助けるために、私たちは手の動きなど身振りで上から下への序

列という概念を視覚化した。20名の評価者はすべてこの質問に同意した。評価者の中には、「どういう意味で？金持ちか貧乏かということですか？それとも別の何かの違い？」と聞き返し、私たちが準拠している評価基準を確認しようとする者もいた。これに対しては、私たちが考える評価基準ではなく評価者自身が重要と考える基準に基づいて評価してほしいこと、および、評価基準についてはすべての世帯を序列づけ終わった後に改めて説明してもらうこと、を付け加えた。

(3)「それでは、誰がいちばん上だと思いますか？」

この質問によって、評価者が最も社会的地位の序列が上位であると考えた個人名があがる。個人に対する評価をその個人が属する世帯に対する評価とみなすこととして、私たちはその個人が属する世帯のカードを探して、評価者に床の上に置いてもらう。つぎに、この最上位となった世帯を基準に、社会的地位の近い個人をあげてもらう。

(4)「この人と同じような人は、ほかにも誰かいますか？」

該当者があった場合、その個人が属する世帯のカードは、とりあえず最上位の世帯と重ねられる。この後は、最上位グループが確定されるまで同じ質問を繰り返す。それが終わったら、つぎに続くグループに属する個人／世帯の抽出に入る。

以上の方法を評価者がやりにくいとした場合には、私たちが便宜上連番で作ってあった、世帯主と配偶者の名前を記入したカードを順番に読み上げ、評価者がそれぞれの世帯について最上位とした世帯より上であるとか、下であると

か、同じであるとか、とグループ分けしてもらった。いずれにしても、184世帯が1位から184位まで並べられるということはなく、いくつかのグループ——上・下とか、上・中・下とか、最上位・上位・中位・下位・最下位——に分けることで各世帯の社会的地位は序列づけられた。以下では、このグループ数を評価カテゴリ数とよぶ。グループ分けは必ずしも1回カードを並べただけで決定せず、あるグループをさらにいくつかに分けたり、ある世帯の順位づけを誤ったとして置き直したり、評価者が納得するまで続けられた。評価者がよく知らないとする世帯は、評価対象から除かれた。

この後、評価者が使った評価カテゴリの数を確認し、それぞれに何か特定の名称があればそれを収集した。評価基準は、評価者の評価行動の一部として作業中にも随時収集したが、最後に改めて上位評価基準と下位評価基準について説明してもらい、調査は終了である。以下、この調査を「社会的不平等調査」とよぶ。

III 調査の結果

1. 評価カテゴリの数と呼称

表4は、評価カテゴリの数と、それぞれの評価カテゴリに該当した世帯数、および被評価世帯

表4 評価カテゴリと該当世帯数

評価者	カテゴリ数	各評価カテゴリに該当した世帯数					被評価世帯数合計	評価率 ¹⁾ (%)
		1	2	3	4	5		
1	3	36	43	103	—	—	182	98.9
2	3	20	45	117	—	—	182	98.9
3	3	12	61	104	—	—	177	96.2
4	4	14	66	49	55	—	184	100.0
5	3	77	23	84	—	—	184	100.0
6	3	8	73	101	—	—	182	98.9
7	3	9	82	63	—	—	154	83.7
8	3	8	27	126	—	—	161	87.5
9	3	47	59	48	—	—	154	83.7
10	4	16	56	75	33	—	180	97.8
11	3	26	30	107	—	—	163	88.6
12	4	34	64	44	22	—	164	89.1
13	3	20	57	83	—	—	160	87.0
14	2	147	37	—	—	—	184	100.0
15	3	20	28	123	—	—	171	92.9
16	4	11	14	97	95	—	177	96.2
17	3	52	24	32	—	—	108	58.7
18	5	12	8	86	60	5	171	92.9
19	3	96	30	37	—	—	163	88.6
20	4	68	26	40	30	—	164	89.1
(出所) 筆者による「社会的不平等調査」より作成。							全体 ²⁾	91.4

(注) 1) 評価対象となった世帯合計184に対する被評価対象となった世帯の比率。
2) 評価可能な世帯数184×20に対する実際の累積被評価世帯数の比率。

帯数合計と評価率をそれぞれの評価者別に示したものである。評価カテゴリの数は、最小が2つ、最大が5つであった。評価者20名のうち13名(65.0%に相当)が3つの評価カテゴリを用いており、最も多い。ついで、4つが5名(25.0%)、2つと5つがそれぞれ1名(5.0%)であった。

評価者の属する所得カテゴリ(表3参照。世帯主の生業からの1日当たり所得100ペソ未満、100~200ペソ、200ペソ超の3つのカテゴリ)と用いた評価カテゴリの数には、統計的に有意な相関関係はなかった。つまり、評価者の所得水準の高い低いで、評価者の社会的順位に関するカテゴリの数え方にとくに違いはないといえる。評価者の金銭的な豊かさ貧しきにかかわらず、彼らはバジャウ地区には社会的順位異なるグループが3~4つ存在すると認識していることがわかる。

全184世帯のうちどのくらいの数の世帯を評価できたかを示す評価率は、最高100.0%、最低58.7%で、平均では91.4%であった。一般に、評価率と評価者の属する所得カテゴリは相関がなく、豊かでも貧しくてもバジャウ住民はお互いの暮らしぶりをよく知っていると考えていることが確認された。評価率が80%を下回ったのは、最低だった58.7%の評価者1名だけである。この評価者はアラスカ地区に住む比較的高齢——50代~60代くらい——の既婚男子で、生業は物乞い、所得カテゴリは最下位であった。調査地への移住時期は1989年頃とされるから新規移住者ではない。しかし、日常生活の範囲が狭いため、親戚や隣人以外のバジャウ住民についてはあまり関心がなく、よく知らないようであった(注15)。

評価カテゴリに対応する何らかの呼び名がつけられるか、という質問に対して、評価者20名全員からいくつか異なる回答を得た。評価カテゴリの数によっても異なるが、上位、中位、下位の3つのカテゴリをとった場合は、それぞれにサマ語で、“*sida dayahan*”(最も裕福である)、“*dayahan*”(裕福である)、“*miskin*”(貧しい)、という呼称がつけられることが多かった。出身地に応じて言葉が少し違ったり、中位を「貧しい」、下位を「最も貧しい」としたり、またカテゴリ数に応じて表現が微妙に変わったりするものの、実際、“*dayahan*”と“*miskin*”を含む表現を使った評価者は16名に達した。こうしたカテゴリの呼称からも、社会的地位の主観的評価が、バジャウ社会内部にある貧富の格差と結びついていることが推察される。残りの評価者4名のうち、2名は「親切である」など、被評価世帯(構成員)の気質や態度を表わす言葉を使った。ほかの1名は3つのカテゴリを生業で見分け、上から「パラングレ漁業(*palangre*:延縄漁)やボボ漁(*bubu*:魚伏籠)、あるいは何らかの商売」、「古着販売業(*ukayukay*)」、「パナ漁業(*pana*:突き漁)か物乞い」とよんだ。また1名は3つのカテゴリに分けた上で、それぞれが特定の親族・地縁集団であるとして、その長にあたる個人名を呼び名とした。ここから、貧富の差が生業活動の違いによることや、生業活動の違いが親族・地縁集団と対応していること、などが示唆される。これについては、本稿第IV節で改めて分析する。

2. 標準化得点による世帯の分布

前項では、20名の評価者がバジャウ地区184世帯の社会的地位に関して、それぞれに評価し、序列をつけたことがわかった。同時に、評価カ

テゴリの数や個々の世帯に対して与えられた評価カテゴリ——すなわち順位——は、評価者によって異なっていた。ここでは、こうした評価者間の違いを統計的に処理して、各世帯の順位を単一の客観的スケール (single objective scale) [Eder 1982, 213参照] で評価できるようにしたい。

まず比較可能な標準化得点を求めるまえに、そもそも評価者20名の順位の付け方が一致しているかどうか確認しておく必要がある。そこで、3人以上の順位の付け方が一致しているかどうかみるために用いられるケンドールの一致係数^(注16)を求めたところ、結果は0.82、漸近有意確率は0.000であった。したがって、評価カテゴリの数は異なっても、各世帯が並べられた順位づけそのものは、評価者のあいだで統計的にかなり一致しているといえよう。バジャウ地区住民のあいだでは、互いの社会的地位について暗黙の合意があると考えられる。

つぎに、単一の客観的スケールで比較可能なように、各世帯に与えられた20名の評価者なり20通りある評価カテゴリを標準化得点に換算しよう。ここでは、Lynch (1959, 59) を参考に、すべての素得点——すなわち、評価カテゴリの順位——を累積百分率得点に変換した。まず、ある評価者が与えた複数の評価カテゴリについて、それぞれに該当する世帯数を評価対象となった総世帯数で除して求められる百分率を求める。これを最下位から最上位まで累積すれば100%、すなわち1となろう。簡単に説明すれば、つぎのような手順である。ある評価者が10人の評価対象世帯を4つのカテゴリで評価したとする。最下位に5世帯、下から3番目に1世帯、下から2番目に2世帯、最上位に2世帯が

位置づけられた。このとき、累積該当世帯数は、最下位から最上位まで順に、5, 6 (すなわち、5 + 1), 8 (同6 + 2), 10 (同8 + 2) である。同様に、累積百分率は、最下位から最上位まで、50%, 60%, 80%, 100%となる。この累積百分率をそれぞれの評価カテゴリに該当する世帯の得点とすれば、最下位から最上位まで0.5, 0.6, 0.8, 1.0となるが、これがここでいう標準化得点である。この作業では、ある評価カテゴリ内における世帯分布の上限から求められた得点を、そのカテゴリに該当するすべての世帯の標準化得点とみなす。

表5は、こうして求められた個々の世帯の標準化得点を評価者ごとにまとめたものである。さらに、それぞれの世帯について標準化得点の平均——標準化得点の合計を総評価者数で除したもの——を求め、表5の左端に示した。その左隣には、標準化得点の平均に基づく各世帯の順位が与えられており、これによって184の世帯が単一の客観的スケールで比較することができる——社会的地位が低い世帯から高い世帯まで順番に並べられる——という具合である。

図2は、こうした平均標準化得点を0.025間隔で目盛りにとり、それぞれのランクにどれだけの数の世帯が該当するか示した度数分布図である。一見すると、3つの山があるように見える。それを区切るひとつめの谷は0.725、2つめの谷は0.875のランクととれる。この2点を分岐点として累積パーセントを求めると、全184世帯に対して、下位グループにはその57.6%、中位グループには29.9%、上位グループには12.5%の世帯が該当することになる。しかし、得点分布のみだけから直ちに調査地のバジャウ社会における階層化の形状を決定することは性

表5 バジャウ世帯に対する各評価者による標準化得点と平均標準化得点

平均標準化平均 得点の順位標準化得点	各評価者による標準化得点 (標準化されたランク)																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	0.99	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
2	0.98	1.00	0.93	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
3	0.98	1.00	0.59	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
4	0.97	1.00	0.93	1.00	1.00	0.96	1.00	1.00	1.00	0.84	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
5	0.96	1.00	0.93	1.00	0.46	0.95	1.00	0.94	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
6	0.95	1.00	0.93	1.00	1.00	0.95	1.00	0.94	1.00	0.66	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
7	0.94	1.00	1.00	0.57	0.46	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
8	0.93	0.57	1.00	0.93	0.92	1.00	0.95	0.94	1.00	0.84	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
9	0.93	1.00	0.93	0.30	0.58	1.00	1.00	0.94	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
10	0.93	1.00	1.00	0.57	0.46	1.00	0.96	1.00	1.00	0.84	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
11	0.92	0.57	0.64	0.93	0.92	1.00	0.95	0.96	1.00	-	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
12	0.92	1.00	1.00	0.93	1.00	1.00	0.78	0.55	0.94	0.91	1.00	0.88	1.00	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
14	0.91	1.00	1.00	0.59	1.00	1.00	0.95	0.55	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
14	0.91	1.00	1.00	0.59	1.00	1.00	0.95	0.55	1.00	0.91	1.00	1.00	1.00	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
15	0.91	1.00	0.64	0.93	0.57	1.00	0.95	0.96	1.00	0.66	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
16	0.89	0.57	1.00	0.93	0.57	1.00	0.95	0.96	1.00	1.00	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
17	0.89	-	0.89	0.59	0.57	0.46	0.95	0.96	1.00	1.00	0.69	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-	1.00	-	1.00
18	0.87	0.80	0.64	1.00	0.57	0.58	0.95	0.96	0.94	0.91	1.00	0.72	1.00	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
19	0.86	1.00	1.00	0.93	1.00	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	1.00	0.88	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
20	0.85	1.00	0.89	0.93	0.57	1.00	0.78	0.96	-	0.91	1.00	0.72	0.13	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
21	0.85	0.80	0.89	1.00	0.57	0.46	0.95	0.96	-	1.00	0.66	0.72	-	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
22	0.84	0.57	0.64	1.00	0.57	0.58	0.95	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	1.00	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
23	0.83	0.80	0.64	0.93	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.88	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
25	0.82	1.00	0.89	1.00	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	1.00	0.72	1.00	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
25	0.82	1.00	0.89	1.00	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	1.00	0.72	1.00	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
27	0.82	0.80	0.64	0.59	0.57	0.46	0.95	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	1.00	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
27	0.82	0.80	0.64	0.59	0.57	0.46	0.95	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	1.00	1.00	1.00	0.94	-	0.93	-	1.00
28	0.82	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	0.95	0.96	0.94	1.00	-	1.00	1.00	1.00	1.00	-	-	1.00	-	1.00
32	0.81	1.00	0.89	0.93	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
32	0.81	1.00	0.89	0.93	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
32	0.81	1.00	0.89	0.93	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
32	0.81	1.00	0.89	0.93	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
34	0.81	0.80	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.88	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00

34	0.81	0.80	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.88	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
35	0.80	1.00	0.64	1.00	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.31	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
36	0.80	1.00	0.89	0.93	0.92	0.46	0.95	0.96	0.94	0.60	0.84	-	0.52	-	0.52	1.00	0.86	-	0.88	0.23	-
37	0.79	0.57	0.64	-	0.92	1.00	0.78	-	-	-	0.66	1.00	0.88	0.79	-	1.00	0.54	-	0.88	0.41	1.00
38	0.79	0.57	0.64	0.93	0.92	1.00	0.78	0.96	0.41	0.91	0.66	0.31	0.72	0.79	-	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
39	0.79	0.57	0.64	0.59	1.00	0.46	0.78	0.55	0.41	0.91	1.00	1.00	0.88	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
42	0.78	0.80	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
42	0.78	0.80	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
42	0.78	0.80	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.79	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
43	0.78	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.94	0.91	0.66	0.69	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
45	0.78	0.80	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.91	0.66	1.00	0.88	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
45	0.78	0.80	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.91	0.66	1.00	0.88	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
46	0.77	0.80	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.96	0.41	0.91	0.66	0.31	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.88	1.00	0.59
48	0.77	0.80	0.89	0.93	0.30	1.00	0.95	0.55	-	0.60	0.84	-	0.88	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
48	0.77	0.80	0.89	0.93	0.30	1.00	0.95	0.55	-	0.60	0.84	-	0.88	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
50	0.77	1.00	1.00	1.00	0.92	0.46	-	0.96	-	0.60	1.00	0.69	0.88	-	0.52	1.00	0.86	-	0.88	1.00	0.59
50	0.77	1.00	1.00	1.00	0.92	0.46	-	0.96	-	0.60	1.00	0.69	0.88	-	0.52	1.00	0.86	-	0.88	1.00	0.43
52	0.77	0.57	0.89	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.40	0.88	1.00	0.86	-	0.88	1.00	0.43
52	0.77	0.57	0.89	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
55	0.77	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.31	0.72	1.00	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
55	0.77	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.31	0.72	1.00	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
56	0.76	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
57	0.76	0.80	1.00	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.91	0.66	1.00	0.72	0.13	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
58	0.76	0.57	0.64	0.93	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.13	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
59	0.76	0.80	0.89	0.93	0.30	1.00	0.95	0.55	-	0.60	0.66	-	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
60	0.76	0.57	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.13	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
61	0.76	0.57	0.64	0.93	0.30	1.00	0.78	0.96	0.41	0.60	0.66	0.31	0.72	0.79	-	1.00	0.86	1.00	0.88	1.00	1.00
62	0.76	0.80	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.31	0.88	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
64	0.75	0.80	0.89	0.93	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.79	-	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.59
64	0.75	0.80	0.89	0.93	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.79	-	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.59
65	0.75	1.00	0.89	0.59	0.57	0.46	0.78	1.00	0.94	0.91	1.00	0.69	1.00	1.00	0.52	1.00	0.86	-	0.38	1.00	0.43
68	0.75	1.00	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.84	0.69	0.88	0.79	0.52	1.00	0.94	-	0.38	0.23	1.00
68	0.75	1.00	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.84	0.69	0.88	0.79	0.52	1.00	0.94	-	0.38	0.23	1.00
68	0.75	1.00	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.84	0.69	0.88	0.79	0.52	1.00	0.94	-	0.38	0.23	1.00
70	0.74	1.00	1.00	0.59	1.00	0.46	0.95	0.96	0.94	0.60	1.00	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.03	0.23	0.43
70	0.74	1.00	1.00	0.59	1.00	0.46	0.95	0.96	0.94	0.60	1.00	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.03	0.23	0.43
71	0.74	0.57	-	0.93	0.92	1.00	0.95	0.55	0.94	0.91	-	0.69	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59

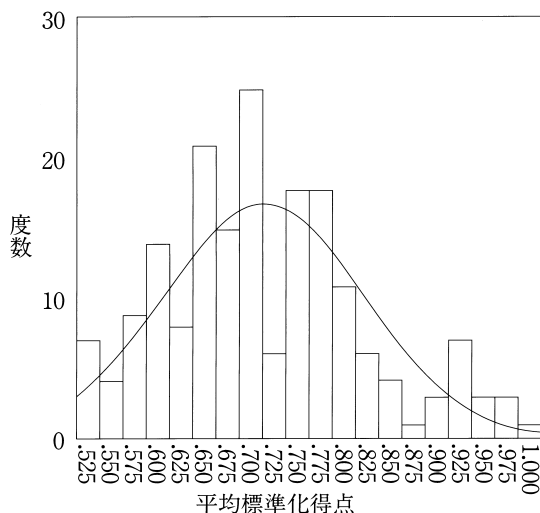
72	0.74	0.57	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.40	0.52	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
73	0.74	0.80	0.89	0.93	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.60	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
75	0.74	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.13	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
75	0.74	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.13	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
76	0.74	0.80	0.64	0.93	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
78	0.73	0.80	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.91	0.66	0.69	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	1.00
78	0.73	0.80	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.91	0.66	0.69	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	1.00
79	0.72	0.57	0.64	0.93	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.43
80	0.72	0.57	0.64	0.93	0.92	0.46	-	0.96	-	0.60	0.84	-	0.88	-	0.52	1.00	0.86	-	-	0.23	-
81	0.71	1.00	0.64	0.59	0.30	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.84	0.69	0.88	0.79	0.52	1.00	0.94	-	0.38	0.23	1.00
82	0.71	1.00	0.64	1.00	0.30	1.00	0.78	0.96	0.41	0.91	0.66	0.31	0.88	0.13	0.52	1.00	0.94	-	0.38	-	1.00
84	0.71	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	0.78	0.55	0.94	0.60	0.66	0.69	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
84	0.71	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	0.78	0.55	0.94	0.60	0.66	0.69	0.72	0.79	0.52	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	1.00
85	0.71	0.57	0.89	0.59	0.92	1.00	-	0.55	0.41	0.91	0.84	-	0.72	0.13	-	0.20	0.86	1.00	0.88	1.00	0.59
86	0.71	1.00	0.89	0.59	0.57	0.46	0.95	1.00	0.94	0.60	0.84	0.69	0.88	1.00	0.52	1.00	0.86	-	0.03	0.23	0.43
87	0.71	0.57	0.89	0.93	0.57	0.58	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
88	0.71	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.95	0.96	0.94	0.60	1.00	-	0.72	-	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	-
90	0.71	0.80	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.84	0.69	1.00	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
90	0.71	0.80	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.84	0.69	1.00	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
91	0.70	0.57	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.13	0.88	1.00	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
92	0.70	0.80	0.89	0.93	0.57	0.46	-	0.96	-	0.60	0.84	0.69	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	-
93	0.70	1.00	0.64	0.59	0.30	0.46	0.95	0.96	-	0.60	0.84	-	-	-	-	1.00	0.86	-	-	0.23	-
94	0.70	0.57	0.64	0.93	0.92	0.46	1.00	0.96	0.94	0.91	0.84	1.00	0.72	0.79	0.52	0.20	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
95	0.70	0.80	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
96	0.70	0.80	0.89	0.93	0.30	0.46	0.78	0.55	-	0.91	0.84	1.00	0.88	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	0.43
97	0.70	0.80	0.64	0.59	0.57	0.46	-	0.96	0.94	0.60	0.66	0.69	0.88	-	0.52	1.00	0.94	-	0.38	0.23	1.00
98	0.70	0.80	0.64	0.93	0.92	0.46	0.95	0.96	-	0.60	0.84	0.69	0.88	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.03	0.23	0.43
103	0.69	0.80	0.64	0.93	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	1.00	0.52	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.59
103	0.69	0.80	0.64	0.93	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	1.00	0.52	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.59
103	0.69	0.80	0.64	0.93	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	1.00	0.52	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.59
103	0.69	0.80	0.64	0.93	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	1.00	0.52	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.59
103	0.69	0.80	0.64	0.93	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	1.00	0.52	1.00	0.54	-	0.38	1.00	0.59
104	0.69	0.57	0.64	0.59	0.92	0.58	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
105	0.69	0.80	0.89	0.93	0.57	0.46	0.95	0.96	-	0.60	0.84	0.69	0.88	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.03	0.23	0.43
106	0.69	0.80	0.64	0.93	0.30	0.58	0.78	0.96	0.94	-	0.66	-	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.41	0.43
110	0.69	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
110	0.69	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
110	0.69	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
110	0.69	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43

110	0.69	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
111	0.69	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	-	0.66	-	0.72	0.79	-	1.00	-	-	-	0.41	0.43
112	0.69	0.57	0.64	0.59	0.57	0.58	-	0.55	0.41	0.91	1.00	0.72	0.40	0.88	0.20	0.86	1.00	0.88	1.00	0.59
113	0.68	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	-	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
114	0.68	1.00	0.64	0.93	0.30	0.46	-	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	-	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	-
115	0.68	0.57	0.89	0.59	0.57	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
116	0.68	0.57	0.64	0.93	0.30	0.58	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
117	0.68	0.80	0.64	0.59	0.57	0.46	0.78	0.96	-	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	-	-	0.23	-
118	0.67	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
120	0.67	0.57	0.64	0.93	0.57	0.46	0.78	0.55	0.94	0.91	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
120	0.67	0.57	0.64	0.93	0.57	0.46	0.78	0.55	0.94	0.91	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
121	0.66	0.80	0.64	0.93	1.00	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.84	0.31	0.88	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	0.18
122	0.66	-	0.64	0.59	0.30	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
124	0.66	0.57	0.64	0.59	0.57	0.58	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
124	0.66	0.57	0.64	0.59	0.57	0.58	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
126	0.66	0.57	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	0.13	1.00	0.54	0.30	0.38	1.00	1.00
126	0.66	0.57	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	0.13	1.00	0.54	0.30	0.38	1.00	1.00
127	0.66	0.80	0.64	0.93	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	0.79	1.00	0.54	-	0.38	0.23	-
128	0.66	0.57	-	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.69	0.72	0.13	0.88	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
129	0.66	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	1.00	0.72	0.79	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
130	0.66	0.57	0.64	0.59	0.57	0.46	-	0.96	-	0.60	0.66	0.69	0.88	0.52	1.00	0.86	-	-	0.23	-
131	0.65	0.57	0.64	0.59	0.57	0.46	0.78	0.96	0.94	-	0.66	0.69	0.72	0.79	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
132	0.65	0.57	0.64	-	0.57	0.46	-	0.96	-	0.60	0.84	-	0.88	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	-
133	0.65	0.57	0.64	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.41	0.91	0.66	0.69	0.72	0.13	0.88	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
134	0.65	0.57	0.64	0.93	0.30	0.46	0.78	0.55	0.94	0.60	0.66	0.69	0.72	0.13	0.88	0.54	1.00	0.88	1.00	0.59
135	0.65	0.80	0.64	0.59	0.57	0.46	-	0.96	-	0.60	0.66	-	0.88	0.79	1.00	0.86	-	0.38	0.41	0.43
136	0.65	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	-	0.96	-	0.60	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	0.23	-
138	0.65	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	-	0.96	0.94	0.60	0.84	-	0.72	0.79	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
138	0.65	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	-	0.96	0.94	0.60	0.84	-	0.72	0.79	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
139	0.64	0.80	0.64	-	0.92	0.46	-	0.55	-	0.60	0.84	-	0.79	0.52	1.00	-	-	0.38	0.23	-
140	0.64	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.55	-	0.60	0.84	0.69	0.72	0.79	1.00	0.86	-	0.38	0.23	0.43
141	0.64	0.57	0.64	0.93	0.30	0.46	-	0.96	-	0.60	1.00	-	-	0.52	1.00	0.86	-	-	0.23	-
142	0.64	0.57	0.64	-	0.57	0.46	-	0.96	-	0.60	1.00	-	-	0.52	1.00	0.86	-	-	0.23	-
144	0.63	0.57	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	0.13	1.00	0.54	0.30	0.38	1.00	0.59
144	0.63	0.57	0.64	0.93	0.57	1.00	0.78	0.55	0.41	0.60	0.66	0.69	0.72	0.13	1.00	0.54	0.30	0.38	1.00	0.59
146	0.63	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	0.78	0.55	0.94	0.60	0.66	-	0.88	0.79	1.00	0.86	-	0.38	0.41	0.43
146	0.63	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	0.78	0.55	0.94	0.60	0.66	-	0.88	0.79	1.00	0.86	-	0.38	0.41	0.43
148	0.62	0.57	0.64	0.93	0.57	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	0.31	0.72	0.13	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43

148	0.62	0.57	0.64	0.93	0.57	0.46	0.78	0.96	0.94	0.60	0.66	0.31	0.72	0.13	0.52	1.00	0.86	0.52	0.38	0.41	0.43
150	0.62	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	-	0.96	-	0.60	0.84	0.69	-	-	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	-
150	0.62	0.57	0.64	0.59	0.30	0.46	-	0.96	-	0.60	0.84	0.69	-	-	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	-
152	0.61	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
152	0.61	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
153	0.61	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	-	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
154	0.61	0.57	0.89	0.59	0.57	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
155	0.60	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	-	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
156	0.59	0.57	0.89	0.59	0.57	0.46	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	-	0.88	1.00	0.18
157	0.59	0.57	0.64	0.59	0.57	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
159	0.59	0.57	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
159	0.59	0.57	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
160	0.59	0.57	0.64	-	0.30	0.46	-	0.96	-	0.60	-	-	-	-	0.52	1.00	-	-	-	0.23	-
161	0.59	0.57	0.64	-	0.30	0.46	-	0.96	-	0.60	-	-	-	-	0.52	1.00	0.86	-	0.38	0.23	-
163	0.59	0.57	0.89	0.59	0.57	0.46	0.78	0.55	0.41	0.18	-	0.31	0.72	0.40	-	0.20	0.54	-	0.88	1.00	1.00
163	0.59	0.57	0.89	0.59	0.57	0.46	0.78	0.55	0.41	0.18	-	0.31	0.72	0.40	-	0.20	0.54	-	0.88	1.00	1.00
164	0.59	0.57	0.64	0.59	0.92	0.58	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	-	0.88	1.00	0.18
165	0.58	0.57	0.89	0.59	0.57	0.46	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
166	0.58	0.57	0.89	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
168	0.57	0.57	0.89	0.59	0.30	0.58	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
168	0.57	0.57	0.89	0.59	0.30	0.58	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
169	0.57	0.57	0.64	0.59	0.92	1.00	0.78	0.55	0.41	0.18	-	0.31	0.72	0.40	-	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
171	0.56	0.57	0.64	0.59	0.92	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
171	0.56	0.57	0.64	0.59	0.92	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.88	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
173	0.56	0.57	0.64	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
173	0.56	0.57	0.64	0.59	0.30	1.00	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
174	0.55	0.57	0.89	0.59	0.92	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
176	0.54	0.57	0.64	0.59	0.57	0.58	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.13	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
176	0.54	0.57	0.64	0.59	0.57	0.58	0.78	0.55	0.94	0.18	0.66	0.31	0.72	0.13	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
177	0.54	0.57	0.64	-	0.30	0.46	-	-	-	0.60	0.66	0.31	0.72	0.13	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
179	0.54	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.18	-	0.31	0.72	0.40	-	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
179	0.54	0.57	0.64	0.59	0.92	0.46	0.78	0.55	0.41	0.18	-	0.31	0.72	0.40	-	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
182	0.52	0.57	0.64	0.59	0.30	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
182	0.52	0.57	0.64	0.59	0.30	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
182	0.52	0.57	0.64	0.59	0.30	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.40	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
184	0.51	0.57	0.89	0.59	0.30	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.13	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18
184	0.51	0.57	0.89	0.59	0.30	0.58	0.78	0.55	0.41	0.18	0.66	0.31	0.72	0.13	0.52	0.20	0.54	0.30	0.88	1.00	0.18

(出所) 表4と同じ。

図2 平均標準化得点の度数分布



(出所) 表4と同じ。

急である。なぜなら、この方法による社会的不平等の推定においては、得点分布から推定される分類が、個々の評価者のとった評価行動と評価基準から考察される対象社会の実態を反映するようなメルクマールと一致しなければならないからである。次項でこの点について検討しよう。

3. 評価基準と評価行動

(1) 評価行動

調査の設計にあたり想定していた評価行動は、評価者が各世帯を個別に評価しながら、徐々にすべての世帯を相対的に順位づけていくというものであった。これは低地キリスト教徒社会を扱ったリンチの研究でもクヨ移民を扱ったエグーの研究でも想定されているような、「自然な」評価行動のように思われた。しかし、実際に調査を行ってみると、意外にも、バジャウ地区住民のあいだに存在する社会的地位の序列の意識は、個人や個別世帯に対するものというよりも、個別世帯の集まったグループに対するものであ

った。それは、20人の評価者のうち13人が各世帯を個別に評価するのではなく、まずいくつかの「カンボン」(kampong)に分類してから、そのカンボンごとに社会的地位の評価を行い、順位づけるという評価行動をとったことにあらわれた。カンボンの語源は村を指すマレー語で、すなわち地縁集団のことであるが、本稿でいう「カンボン」は、「溯って確認できようができませんが何らかの親族関係が存在している個人の集まりを指す。この言葉はまたある特定の地域に居住する、つまり地縁のある親族集団のみを指す場合もある」[Bottignolo 1995, 266]と同義である。

要するに、バジャウ地区住民における社会的地位は個人に対するものというよりも、カンボンのような集団に対してより明確に把握されたのである。これは前述のように、評価カテゴリーの名称にも特定の親族・地縁集団——ここでいうカンボン——の長にあたる個人名がつけられていたことにもあらわれている。13人の評価者のあいだでカンボンの数、すなわち評価カテゴリーの数は一致しなかった。これはひとつには、評価者からみて親しいカンボンについては、その代表とされる個人や世帯に詳しい一方で、あまり親しくないカンボンについては数や構成員に関する認識があいまいになる傾向があるためである。もうひとつとしては、複数のカンボンの間で婚姻関係などがあるために、個々人によって認識されるカンボン／グループの構成員が異なってくるためである。そのため、評価者によってカンボンの総数や、ある世帯がどのカンボンに属するか、という判断にゆれが生じることになる。そこで、私たちは、指摘されたカンボンの数のうち最大数である5つをとり、代表

表6 グループの順位

グループ	世帯数	順位*		
		平均	最高	最低
1	6	5.8	2.0	15.0
2	8	16.6	1.0	27.0
3	18	52.2	12.0	128.0
4	27	120.1	90.0	148.0
5	27	166.2	121.0	184.0

(出所) 表4と同じ。

(注) * 順位とグループの分散分析結果は、自由度4, F値228.9, 有意確率0.000。

とされる各1世帯を個別訪問して、自分たちのグループに属するとみなす世帯を選択してもらった^(注17)。各グループに属する世帯の数には6～27とかなり幅があるが、各グループの最低位から最高位までの順位分布の範囲を比較すると5つのグループとして序列がつけられることがわかった(表6)。全184世帯のうちここで分類の対象とされたのは合計86世帯にすぎないが、これは前述の代表者5名が迷うことなく分けられた構成員のみを捕捉したためである。代表性が十分でないという問題が生じるが、筆者が別の客観的指標(たとえば生業や婚姻関係など)をもって分類に関与することは、被調査者の主観を重んずるという本研究の趣旨からみて無意味であるため今回は避けた。構成員の重複は下位2グループで2件みられたが、この場合、居住場所の近い方のグループの所属と判断した。以上のような留意点があるが、ここでは、ひとつには社会的地位の上下をグループ単位で捉えるという評価行動がひろくみられたこと、もうひとつには、それに基づくグループ分けが先の平均標準化得点の分布による序列と一致する、という2点を重視して、この5つのグループを調査地において社会的地位の格差が主観的に認識されている単位(unit)とみなすこととしたい。

前節で求めた標準化得点の分布では3つの山に見えたが、これを区分と確定するに適切なメルクマールが評価行動からみえてこなかったことを鑑みると、やや恣意的ではあるがこの5つのグループを単位としたほうが調査地の社会構造を実態的に捉える上ではより適切と考えられるからである。このことは、次項以降で評価基準の内容について、いったい何を基準にこれらのグループに序列がつけられているのかという点について検討するとより明確になる。

以下の2項では、評価基準について分析しよう。繰り返しになるが、調査設計段階では予測しえなかった事態として、評価者20名のうち13名がグループ単位で、残り7名が世帯単位で、それぞれ評価を行った結果、評価単位がグループと世帯に分かれてしまっている。この問題について、本稿では、対象社会においては個人が世帯を評価する基準とグループを評価する基準とでは重なる部分が大きいであらうと判断して、両者のちがいがいかかわらず集計・分析を行うことで対処した。この点、以下の2項を読む際の注意事項とされたい。

(2) 上位評価の基準

評価基準は大まかにいって、経済的基準、政治的・宗教的基準、個人の属性による基準の3つによる把握ができる。はじめに断っておくが、上位評価、下位評価ともに、評価基準と評価者の所得カテゴリとのあいだに統計的に有意な相関関係はなかった。つまり、評価者の所得が低いか高いかによって、どのような基準——価値観といってもよい——で各世帯の社会的地位を順位づけたかという点において違いはない。いいかえれば、評価者のあいだで評価基準は共有されているとみなしてよい。

表7 上位評価の基準

ダバオ市イスラ・ベレサ、バジャウ地区住民(1999年)				ビコール州カナマン、低地キリスト教徒社会(1957年)			
基準		度数	順位	基準		度数	順位
1. 経済的基準（物的所有など）：小計113（67.7%）				A. 経済的基準（物的所有）			
1	家電の所有（テレビ、冷蔵庫、ミシンなど）	18	1	1	土地の所有、とくに稲作地	19	1
2	良い家屋に居住(大きい,手入れが良い,屋根が鉄板)	18	1	2	現金の所有	18	2
3	所得のある生業をもつ	15	3	3	自営業で安定的な収入がある	16	3
4	漁業（ボボ／バラングレ）	8	5	4	俸給からの収入がある	15	4
5	収入が大きい	6	7	5	年金からの収入がある	13	5
6	貝殻・真珠販売業（貨物船むけ）	6	7	6	バスを所有し、安定的な収入がある	12	8
7	宝飾品の所有	5	10	7	教師で俸給を得ている	11	9
8	現金の所有	5	10	8	土地抵当権から収入を得ている（不労所得）	11	9
9	古着販売業	5	10	9	コミッション・ベースの収入がある	8	12
10	貝殻・真珠販売業（インシュラー・ホテル）	4	13	10	将来のために貯蓄がある	6	15
11	貝殻・真珠販売業（行商など）	4	13	11	生活水準が高い	5	17
12	十分な食糧がある	3	16	12	よい債権をもち、負債がほとんどない	5	17
13	エンジン付きボートの所有	3	16	13	将来の見通しがある	2	29
14	常連客（貝殻・真珠販売業／漁業）をもつ	2	22	14	十分な収入がある	2	29
15	インシュラー・ホテルの貝殻・真珠販売業の元締め	2	22	15	ビジネスをする能力がある	1	41
16	賭博（last-two など）の元締め	2	22	16	作業用の動物を所有する	1	41
17	親が金持ち	1	27				
18	すでに漁業に従事していない	1	27				
19	農業	1	27				
20	子供が所得のある生業をもつ	1	27				
21	たぐさんの橋に接続されている	1	27				
2. 政治的・宗教的基準：小計35（21.0%）				B. 政治的基準（フォーマル、インフォーマルな行動コントロール）			
22	特定のグループ（カンボン）に所属	13	4	17	教育を受けている／教養がある	13	6
23	教会（ボーン・アゲイン・クリスチャン）に所属	7	6	18	政府で要職にある	10	11
24	政府から援助を受けている	6	7	19	威信がある	4	20
25	牧師	4	13	20	リーダーである	3	22
26	親族の相互援助がある	2	22	21	コミュニティにおいて名声がある	3	29
27	伝統的祈禱師	1	27	22	他人から尊敬されている	2	29
28	超自然的存在をすでに信じていない	1	27	23	他人から相談を受ける	2	29
29	サリサリ・ストア(タウスグ)からの援助を受けている	1	27	24	宗教的、社会的活動に熱心	2	29
30	指導力がある	1	27	25	他人のために職探しを依頼される	1	41
31	組織されている	1	27	26	年齢	2	29
3. 個人の属性による基準：小計19（11.4%）				C. 人格的基準（性格やアチーブメント）			
32	人となりが良い	3	16	27	評価者と親しい	3	22
33	評価者と親しい	3	16	28	近寄りやすい	3	22
34	自分勝手（他人に分け与えない）	3	16	29	人となりがよい	2	29
35	貧者を援助	3	16	30	見聞が広い	2	29
36	非サマ語がうまい（セブアノ語・英語）	2	22	31	教会に対して寛容	2	29
37	盗みをしない	1	27	32	カナマンの出身者	1	41
38	物乞いをしない	1	27	33	思慮深い	1	41
39	働き者	1	27	34	社交的である	1	41
40	誠実	1	27	35	勤勉である	1	41
41	学歴がある	1	27				
全ての評価基準に対する累積回答者数 167（100.0%）							

(出所) 筆者による「社会的不平等調査」および Lynch (1959, 91-92, Table 16) より作成。

(注) 当該評価基準カテゴリにおける各評価基準の累積回答者数。かっこ内は全ての評価基準に対する累積回答者数に対する小計の比率。小数点切り上げのため、合計は必ずしも100.0%にならない。

表 8 下位評価の基準

ダバオ市イスラ・ベレサ，バジャウ地区住民(1999年)				ビコール州カナマン，低地キリスト教徒社会(1957年)			
基準		度数	順位	基準		度数	順位
1. 経済的基準（物的所有など）：小計73（61.3%）				A. 経済的基準（物的所有）			
1	所得が不十分／生活苦	14	1	1	親戚以外の慈善に依存している	16	3
2	物乞い以外に生業がない	11	2	2	日雇い労働者，安定的な収入がない	8	12
3	家屋が貧相（ニッパ小屋，未修理，ドアがない）	10	3	3	小作人，土地を持たない	7	14
4	生業がない／不安定	9	5	4	子供を教育しなければならない(支出が多い)	6	15
5	漁業（バナ）以外の生業がない	6	6	5	子供から援助を受けている	5	17
6	現金がない	5	8	6	収入がない	3	22
7	非漁業の事業に従事していない	3	10	7	子供が多い（支出が多い）	3	22
8	家電をもたない	3	10	8	身体に障害がある	2	29
9	事業資本がない	3	10	9	高齢で働くことができない	1	41
10	古着販売業以外の生業がない	2	15				
11	漁業をあきらめた	2	15				
12	漁船を売却	1	24				
13	常連客（貝殻・真珠販売業／漁業）がない	1	24				
2. 政治的・宗教的基準：小計22（18.5%）				B. 政治的基準（フォーマル，インフォーマルな行動コントロール）			
14	特定のグループ（カンボン）に所属	10	3	10	*		
15	政府からの援助がない	5	8	11	*		
16	伝統的信仰（オンボ）を実践	3	10				
17	外部からの援助がない	2	15				
18	親族の相互援助がない	1	24				
19	組織化されてない	1	24				
3. 個人の属性による基準：小計24（20.2%）				C. 人格的基準（性格やアチーブメント）			
20	盗みをする	3	10	12	詐欺犯，窃盗犯，その容疑者	4	20
21	評価者と親しくない	2	15	13	カナマン以外の出身者	2	29
22	商売・事業の技能・知識がない	2	15	14	見栄っ張り，見せびらかし	2	29
23	非サマ語の知識がない（セブアノ語・英語）	2	15	15	けち	1	41
24	配偶者と別離（別居・未亡人）	2	15	16	博打うち	1	41
25	妻や子供に仕事がない	2	15	17	「ストリート・コーナー・ボーイ」と酒を飲む	1	41
26	自分勝手（他人にわけあたえない）	2	15				
27	扶養家族が多い	1	24				
28	子供が多い	1	24				
29	自慢したがる	1	24				
30	キャッサバとバナナばかり食べている	1	24				
31	大酒飲み	1	24				
32	トラブルメーカー	1	24				
33	学歴がない	1	24				
34	家でぶらぶらしてばかりいる	1	24				
全ての評価基準に対する累積回答者数 119(100)							

(出所) 筆者による「社会的不平等調査」および Lynch (1959, 92-93, Table 17) より作成。

(注) 当該評価基準カテゴリにおける各評価基準の累積回答者数。かっこ内は全ての評価基準に対する累積回答者数に対する小計の比率。小数点切り上げのため，合計は必ずしも 100.0%にならない。* 原書の複写が不鮮明のため読みとれなかった。

この項と次項では表7と表8を使う。それぞれに、リンチが1950年代後半に社会階級に関して行った調査の結果を併記しておく [Lynch 1959, 91-93]。リンチが調査を行ったのは、低地キリスト教徒社会のひとつである、ピコール州の水稲耕作地域にある町であった。筆者らが調査を行った1990年代末のダバオ市——農業地域を後背地にもつ港湾都市——における多数派、オハワナヤブアノムコが、リンチが調べた時

品の所有」(同5名)があげられているが、これは移動性の高い彼らにあってダバオ市移住以前からの富所有形態であり、非常時には質屋で換金される。「現金の所有」(同5名)も大切である。ほかには、「十分な食糧がある」(同3名)、つまり飢えていないことが重要である。ところで、現在のダバオ市におけるバジャウは、昔のように採集した海産物を非バジャウと物々交換することでも、ハサバハビ生命を命を典産

のピコラノと同じような価値観をもっているかどうかは不明である。しかし、ほかに適当な資料がないので、これをバジャウ地区住民と低地キリスト教徒社会における社会的地位の評価基準を比較するひとつの参考としたい^(注18)。

まず、表7には上位評価に用いられた基準を列挙した。

社会的地位が高いと評価された世帯あるいはグループは、第1に、何よりも経済的に豊かであると認識されており、とくにテレビ、冷蔵庫、シンなど「家電の所有」(評価者20名中18名が指摘)、大きい、手入れが行き届いているなど「良い家屋に居住」(同18名)、「所得のある生業をもつ」(同15名)が重要なマーカーとなる。ここではさらに、生業として漁業があげられており、とくに後述するパナと比較して生産性が高く、かつ、より商業的な漁業であるボボとパラングレに対する評価の高さが明らかになった。同じ漁業といっても、下位評価の基準にでてく

物や日用雑貨を得るということにはできない。したがって、都市経済に適応するにあたって現金を持つことは以前よりも重要になっている。ここで、リンチが調査した低地キリスト教徒社会では、上位にあがってくる経済的基準では、やはり収入の安定が重要項目であるが、バジャウに見いだせない基準として「将来のために貯蓄がある」、「良い債権をもち、負債がほとんどない」、「将来の見通しがある」という3つがある。調査地のバジャウでは、比較的裕福で多少の余剰もあろうかという評価者でも、こうした基準をあげることはなかった。評価されていないのは、消費の将来選好や、インフォーマルであれ信用市場へのアクセスや、長期に渡って暮らしを展望する能力が制約されているためである。この点について、当該地域への援助主体、とくに、セブアノが多いダバオ市社会サービス開発局 (City Social Services and Development Office: CSSDO) は、見過ごしがちであること

に所属」することは、社会的地位を高めることがある（評価者20名中13名が指摘）。さらに、調査地においてはバジャウのみを対象としたバプティスト系「教会（Born Again Christian）」^(注20)への所属は、上位評価の重要な基準であった（同7名）。この教会の活動には政府援助の誘導が含まれるため^(注21)、「政府からの援助を受けている」（同6名）という項目が評価の基準にもあげられた。また、「親戚の相互援助がある」や「組織されている」など助け合いを可能にする何らかの機構が存在すると、評価があがった。興味深いことに、リンチの研究をみると、こうした「援助を受けている」事態は、上位評価ではなくもっぱら下位評価の基準にあがってくる。低地キリスト教徒社会では慈善を受けることはあまり名誉ではないというわけだが、筆者らの調査では慈善を受けているバジャウこそ社会的地位が高い、という具合である。換言するならば、援助なしには上昇できない、と考えられているのである。あるいは、これも生業とならんで一種の「現金を調達してくる能力」とみなされているのかもしれない。ほかには、「伝統的」^(注22)祈禱師であることを評価する者もいれば、一方で、「超自然的な存在をすでに信じていない」ことをあげる者もあり、伝統的な価値観のゆらぎが垣間見える。なお、リンチの研究において、この項では、「教育を受けている／教養がある」、「政府で要職にある」などが上位であったが、調査地におけるバジャウ社会では無学歴者が多く、被雇用者も皆無に近いため、そうした項目は皆無であった。

第3に、個人の属性についてはあまり基準として用いられなかったが、最頻値の2つ、「人となりが良い」、「評価者と親しい」（それぞれ

評価者20名中3名が指摘）は、リンチの調査結果と共通する。人格の評価においては、バジャウも低地キリスト教徒もあまり違いがないらしい。ただし、ほかの評価基準は著しくリンチの結果と異なっている。とくに、個人の人的資本のわかりやすい指標であるはずの学歴を指摘した者は20名中1名にすぎなかったことを指摘しておきたい。この地区で「成功者」となるには、ある種の生業につかなければならないが、それには必ずしも教育は鍵とならないと認識されているのである。この点は、教育熱心なセブアノラを中心とする地域の福祉関係者には理解しにくいところであろう^(注23)。また、矛盾する基準の指摘もみられ、「自分勝手に他人に分け与えない」者こそ社会的地位が高くなる、という意見がある（評価者20名中3名が指摘）と思えば、「貧者を援助」する者こそ地位が高いという意見もあった（同3名）。もっとも、これを「与える、与えない」を基準にした評価とすれば、これもまたあまり非バジャウにはみられない社会的地位の評価基準かもしれない。一般に困窮しているバジャウの生活状態を反映した認識と思われる。

(3) 下位評価の基準

続いて下位評価の基準（表8）をみると、上位評価の裏返しであり、やはり第1には経済的基準が重要である。「所得が不十分／生活苦」など貧しさが明らかな場合には社会的地位が低くなり（評価者20名中14名が指摘）、とくにメーカーとなるのは生業と家屋である。とくに、「物乞い以外に生業がない」（同11名）、「生業がない／不安定」（同9名）の場合はもちろん、漁業のうちでも「バナ以外の生業がない」（同6名）、いいかえれば生存的レベルにとどま

っている場合には評価が低かった。

第2に「特定のグループ（カンボン）への所属」も社会的地位の低さとしばしば結びつけられた（評価者20名のうち10名が指摘）。とくに「伝統的信仰（オンボ：*umboh*）を実践」する世帯やグループへの評価は下がりがちである（同3名）。また、「政府からの援助がない」（同5名）、「外部からの援助がない」（同3名）のほか、親戚の相互援助や組織化の欠落が指摘されることもあった。繰り返しになるが、リンチの調査では慈善を受けている者や子供から援助を受けている者こそ、社会的地位が低くなる。働けない者は、すなわち貧しいという構図がそこにはある。しかし、筆者らの調査では、働けな

いバジャウであっても援助を受けている場合には、社会的地位は上と認識されている点に注目すべきであろう。

第3に個人の属性であるが、下位評価の基準でもあまり使われることがなかった。比較的多い項目としては、「盗みをする」（評価者20名中3名が指摘）があった。また、「商売や事業をする技能や知識がない」（同2名）、あるいは外部とのコミュニケーションを可能にするセブアノ語など「非サマ語の知識がない」（同2名）場合も評価が低い。前項でみた上位評価の基準で学歴が重視されなかったことを考慮すると、フォーマルな教育年数で測られる人的資本よりも、ちょっとした行商などに直結するようなスキル

表9 5つのグループと生業

グループ	世帯数	生業			
		男子	比率(%)	女子	比率(%)
1	6	貝殻・真珠販売業	66.7	主婦	66.7
		古着販売業	16.7	古着販売業	16.7
		メカニック	16.7	清掃人	16.7
2	8	貝殻・真珠販売業	37.5	古着販売業	62.5
		古着販売業	12.5	主婦	25.0
		スナック販売業	12.5	スナック販売業	12.5
		日雇い労働者	12.5		
		サメ漁業	12.5		
		失業	12.5		
3	18	貝殻・真珠販売業	77.8	主婦	61.1
		漁業（パナ）	11.1	古着販売業	16.7
		古着販売業	5.6	マット織り	11.1
		物乞い	5.6	物乞い	11.1
4	27	漁業（ボボ／バラングレ）	66.7	古着販売業	55.6
		物乞い	33.3	物乞い	29.6
				主婦	16.7
5	27	漁業（パナ）	100.0	物乞い	81.5
				主婦	18.5

（出所）筆者による「社会的不平等調査」，「基礎的世帯調査」より作成。

のほうが、この地区では成功のひとつの鍵とみなされているようだ。また、おそらく経済的困窮と関連してであろうが、「配偶者と別離」したり、「妻や子供に仕事がない」場合にも社会的地位は低い（それぞれ同2名）。ほかに、扶養家族の多さ、子供の多さ、自慢屋、大酒飲みなど生活態度の乱れなどを指摘した者もいた。このあたりは、あまりリンチの結果と差がないところである。

IV 社会的序列と生業グループとの対応

評価行動において個人／世帯よりも、その属するグループが重要であったことは、前節で指摘した通りである。これを評価基準の点から、いま一度確認しておこう。上位評価の基準（表7）では、全部で41項目があげられたが、「特定のグループ（カンボン）に属すること」は評価者20名中13名の指摘があり、上から4番目の頻度であった。また、下位評価の基準（表8）では、全部で34項目があげられたが、「特定のグループ（カンボン）に属すること」は10名の指摘があり、上から3番目の頻度であった。このように、評価基準においても、個人／世帯がカンボンのようなグループに属していることが社会的地位の高低を決める要素として重視されていることがわかる。

ここでもう一度、表6でこの5つのグループについて標準化得点による順位分布の範囲をみておこう。上から、第1グループは6世帯からなり、最高が184世帯中の第2位、最低は15位、平均5.8位であった。同様に、第2グループは8世帯からなり、最高1位、最低27位、平均16.6位である。このように上位2つのグループ

では、グループを構成する世帯数が少なく、グループ内での順位分布幅が小さい。つまり、社会的地位の格差が少ない小集団である。一方、第3グループ以下では、世帯数は10を越え、また順位分布幅が相当開く。下位3つのグループは、グループを構成する世帯数が多く、グループ内での社会的地位の格差が大きい集団となっている。具体的には、第3グループは18世帯からなり、最高12位、最低128位、平均52.2位、第4グループは27世帯からなり、最高90位、最低148位、平均120.1位である。最下位の第5グループは27世帯からなり、最高121位、最低184位、平均166.2位である。

この5つのグループは何よりも生業がちがっている。翻って、評価基準では経済的基準のうちとくに生業が重視された。非漁業的な生業——貝殻・真珠販売業や古着販売業——や、ボボ・パラングレ漁など比較的生産性の高い漁業から生活の糧を得ている世帯の社会的地位は高く評価された。一方で、生業がなかったり、物乞いであったり、パナ漁を生存的レベルで行っているにすぎない場合、その世帯の社会的地位は低くなった。この事実をさらに明確にするために、第III節の3の(1)項で触れた代表者5名に、グループを構成する世帯の男子と女子の生業の確認をした。その結果、5つのグループは特定の生業に対応していることがわかった。すなわち、社会的地位の高い順に、(1)男子：貝殻・真珠販売業（ホテル）、女子：主婦か非漁業、(2)男子：貝殻・真珠販売業（ホテル・行商）、女子：古着販売業、(3)男子：貝殻・真珠販売業（対貨物船・行商）、女子：主婦か古着販売業、(4)男子：漁業（ボボ・パラングレ）、女子：古着販売業・物乞い、(5)男子：漁業（バ

ナ)、女子：物乞い、という構成が典型であった(表9)。

結 語

以上の分析結果から、冒頭で立てた作業仮説はつぎのように検証された。

(1) 調査地のバジャウ社会は、社会的に順位づけられる個別世帯から構成されている。ただし、評価行動から各世帯の社会的地位は、それが属するところのグループによって評価される傾向が強い。そうしたグループは5つあり、それぞれちがった生業活動を中心としている。

(2) 評価者——バジャウ社会内部の者——のあいだに、順位づけに関する暗黙の合意がある。

(3) 同様に、ほぼ共通する評価基準があり、なかでも経済活動が重要であった。

上位と下位に分けて検討した評価の基準は、バジャウ自身が考える生活水準の向上とはどういうものか、筆者らに示すものでもあった。

「良い暮らしぶり」は、まず家屋や家電など物的所有、現金や換金性のある宝飾品の所有、食糧の充足などとして理解されていた。高い社会的地位は、非漁業を中心とする比較的所得の大きい経済活動、また政府など外部からの援助を受けていること、クリスチャンに改宗していることなどで評価される。非バジャウとの接触を通じて、新しい生業や価値観を受け入れつつ、ダバオ市という都市経済に適応しようとしていると考えられる。ただし、貯蓄、信用、計画性、学歴への評価はなく、政府当局など援助主体との認識のギャップが推察された。一方、低い社会的地位は、生存的なパナ漁や物乞いなど低所得の経済活動、政府など外部からの援助を受け

ていないこと、伝統的信仰に篤いことなどと対応していた。非バジャウとの接触が限られた状態で、都市において生き残るためになりふりかまわず生業を選ばざるをえないマージナルな立場に追いやられていることが危惧される。

ここで一見すると、社会的地位の低い世帯のほうが昔からの信仰を重んじるなど、より「伝統的」な価値観や生活様式を維持しているように思うかもしれない。しかし、実際には、宗教儀礼や社会儀礼などを含め「伝統」の維持にはさまざまな費用がかかるものである。所得があまりに低ければ、金銭的費用が負担できない。また、「伝統」の中には、個人ではなく集団でなければ維持できない要素もある。したがって、個人、あるいは個々の世帯の窮乏化によって集団としての財源、その他のスキルやリソースの供給能力が低下すれば、そうした文化要素は否応なしに変容を迫られるだろう。

最後に、バジャウのような少数民族を都市という環境で扱う場合、経済的変化と文化変容の問題はそれ自体、重要な意義をもつし、そもそも生業の変化・多様化がどのように生じたのかという過程に関する疑問が残るが、これについてはさらなる資料収集が必要である。本稿ではまず、都市経済適応過程においてバジャウ内部に不平等化が生じ、それが主に5つの生業グループに対応していることを明らかにした。生業グループは親族・地縁集団とも対応しており、彼らがダバオ市の都市経済に適応していく上で一つの単位と考えられるから、今後の調査研究において観察・分析単位として有効と考える^(注24)。

(注1) ダバオ市における地域共通語であるセブア

ノ語での標準的な表記に基づく。なお、以下でイタリック体表示のものはサマ語である。

(注2) エスニック・アイデンティティに関する関係論的なアプローチから近年のバジャウあるいはサマを論じた研究として、マレーシアの事例を扱った Nagatsu (2001)、フィリピンの事例を扱った青山 (2001) がある。歴史的には、家船生活者の自称はサマであって、「バジャウ」というのは他の優勢民族による彼らに対する蔑称であったのだが、これらの研究では、他称であった「バジャウ」という名称が、いまやコンテキストに応じて自称されるケースがあらわれてきていることが報告されている。その主体には家船経験者ではないサマも含まれる。つまり、従来、バジャウという民族名称を実体的に規定してきた要素（たとえば家船生活）と「バジャウ」と呼ばれる人々の実態とのあいだに乖離が生じているのである。

(注3) 彼らのセルフ・アイデンティフィケーション（陸サマ/海サマ）や出自については、本稿第II節の表1,2を参照。

(注4) センサスの表記では、正確には Sama (Samal)。サマとサマルの区別については、(1)サマ語族間での他称と自称、(2)スルーでの非サマ語族に対する他称、(3)調査地での非サマ語族によるサマ語族に対する他称、(4)分析の便宜上、研究者が用いてきた呼称など、それぞれのレベルで異なった議論がある。

(注5) 本稿第II節の表2にみるように調査対象となったバジャウ地区の世帯主のうち、ダバオ市外で出生した者、すなわち移住者は94.6%にのぼる。出生地は南サンボアンガ州とスルー州で全体の9割をなす。主な転出理由は「治安の悪化」と「生活苦」であるが、これは1970年代初頭から10年以上も続いたムスリム分離独立派とフィリピン政府軍の武装闘争の影響や、タウスグ (Tausug) やヤカン (Yakan) などムスリム諸族による海賊行為による被害のためである。ホロ・スルー地域は今日でもアブ・サヤフ等ムスリム過激派の活動が活発で不安定な政情にあり、難民流出は続いていると思われる。

(注6) 少数民族あるいは先住民という術語は、それが使われる地域的レベルでだれを指すのか変化する。このことを考慮すると、本稿の扱うバジャウはつぎのような位置づけになる。まず、ダバオ市という地域レベルでは、人口の大部分がセブアノ (Cebuano)

系キリスト教徒であるので、非キリスト教徒系人口はマイノリティとなり、彼らもここに該当する。一方、フィリピンという国家レベルでは、ダバオ市のバジャウも、先住性と文化的少数性に規定される先住民のカテゴリ（フィリピン共和国法第8371号「1997年先住民権利法」〔The Indigenous Peoples Rights Act of 1997〕の第2章3-h項）に該当することになる。なお、ダバオ市のレベルでは、先住民とはマノボ、バゴボ等の内陸少数民族のことであり、この意味では、本稿で言及するセブアノに代表される北方クリスチャン、マラナオ (Maranao)、マギンダナオ (Maguindanao) 等の低地ムスリム、サマ、ラミヌサ (Laminusa)、タウスグ等スルー系民族はすべて移民となる。このうち低地ムスリムとスルー系の移民はミンダナオにおけるキリスト教徒とムスリム分離独立派の武装闘争などによる難民としての性格が強い。ラミヌサについては本稿注(10)を参照。

(注7) ここではスルー諸島を含む。

(注8) タウスグ、マラナオ、マギンダナオ。

(注9) プライバシー保護のため、以下、調査地と人名は仮名とする。なお、このイスラ・ベレサは調査時点では不法占拠者居住区であったが、その後、政府から住民に土地が払い下げられることが決定し、数年以内に実施される見込みとなっている。

(注10) シアシ系サマ。言語集団としては「バジャウ」と同系であるが、調査地においては宗教という社会行動様式の違いを強調することで自らと「バジャウ」との弁別を図っている。このほか、「バジャウ」であるほかのサマ語集団と比べて、すでに海岸沿いの杭上家屋で暮らすことをやめていること、学歴が相対的に高いこと、の2点でも異なっている。

(注11) 1995年人口センサスによれば、ダバオ市総人口100万2922人のうちセブアノは76.4%を占める。これに対してムスリム主要グループであるタウスグは0.65%、またマラナオは0.41%にすぎない。

(注12) 「基礎的世帯調査」は、イスラ・ベレサにおいてエスニック・グループ間で経済的福祉に格差があるか調べるために、バジャウ地区に隣接する2つの地区でも実施した。その結果、世帯の社会経済的特徴に関する客観的指標において、ほとんどの場合、バジャウは不利な立場にあることが判明している。たとえば、7歳以上を対象とした就学経験年数でバジャウ

(サンプル数763) は平均1.2年(最頻値0年)であるのに対し、非バジャウ(同863)では平均7.0年(同6.0年)であった。また、世帯主の生業からの1日当たり平均所得では、バジャウ(サンプル数184)が153.9ペソであるのに対して、セブアノ(同87)は194.8ペソ、タウスグ(同32)は169.6ペソ、マラナオ(同17)は278.5ペソ、ラミヌサ(同24)は221.5ペソであった。いずれのグループも大半が自営業であり、日々の所得には変動があるので、自己申告で収集した所得データは全体として過大であるが、バジャウの所得が非バジャウに比べて低い、ということはいえるであろう。なお、1999年11月現在、為替レートは1米ドル=約40ペソ、ダバオ市の非農業部門の最低賃金は1日158ペソ。ダバオ市を擁する南ダバオ地方の貧困線(栄養その他の基礎的ニーズを満たすに必要な所得と定義される)は1997年で1人当たり年間所得1万440ペソ。

(注13) ここで、イスラーム教徒、あるいはムスリムとは、礼拝所(モスク)などを有し、礼拝に参加する者を指す。この意味で、本稿が対象とするバジャウはイスラーム教徒ではない。

(注14) 調査地のバジャウの大部分は、自分の生年月日や年齢を知らないため、本人の話や外見、家族構成などから推定年齢を求めて用いた。

(注15) 評価率の低さにもかかわらずこの人物を評価パネルとして残したのは、その順位付け自体は他の評価者と一致しており、評価基準に関する回答も有効であったためである。

(注16) ケンドールの一致係数 W は、 m 人の評価者が n 個の対象物に順位をつけたときに、評価者 I が対象物 j につけた順位を R_{ij} とすると、つぎの式を使って求められる。 $0 \leq W \leq 1$ が成立し、 $W=0$ のときは順位がまったく一致せず、1に近づくほど一致の度合いはよくなり、 $W=1$ のときは順位が完全に一致する [内田 1997, 182-185]。

$$W = 12 \sum_{i=1}^m \left(\sum_{j=1}^n R_{ij} \right)^2 / m^2 n (n^2 - 1) - 3(n+1)/n - 1$$

(注17) 構成員が確定していない段階における代表者の選択は、前述したように評価カテゴリーの名称として使用された特定の親族・地縁集団の長にあたる個人名とその頻度を手がかりとした。結果的に、最上位と2番目のグループでは年長かつ経済力のある個人、3番目のグループでは年長かつ伝統的宗教のリーダー、

4番目のグループでは電力会社と契約を結び電力をメンバーに配分するなどインフラ関係の権限をもち、かつ伝統的な宗教のシンボルとして旗を所有する世帯に属する個人、5番目のグループではグループの特性である経済的困窮がもっとも著しい世帯に属する個人が選択された。また、この際には、とくに「カンボン」や「親族」という用語で誘導せず、「あなたがたのグループ (grupo ninyo) に属するのは誰と誰ですか」という質問を用い、前段の調査で使用したカードによる分類を依頼した。「なぜ同じグループなのですか?」という質問に対しては、「親戚や隣人であり似ている」という答えや「これがカンボンというものだ」という説明が大半であった。その結果、5つのグループのうち、ステータスが最上位のグループの代表者は「カンボン」という言葉を使わなかったため、以下の議論ではこれらの集団をカンボンではなく、生業グループとよぶ。

(注18) ここで調査地の社会経済水準がピコールと比べて一定の差があるならば、価値基準に差異があるのは当然であるという解釈もできる。一方で、社会経済水準が違ってても価値観(たとえば経済合理性のレヴェルといってもよい)が根本的に違うとは限らず、むしろ環境(たとえば信用へのアクセスなど)に影響を受けるという解釈もあろう。経済発展レヴェルと価値観の関係について議論することは本稿の範囲を超えるので、ここでの調査地とピコールとの比較に関する解釈は読者に委ねたいと思う。

(注19) マイクロ・クレジット・スキームによる生業支援プログラムを実施し、ただちに失敗することを数回繰り返していた。

(注20) 周知のとおりこの団体は世界的規模の宗教団体であり、途上国においてスラムなどで急速に信者数を拡大した「貧者の宗教」である。ただし、調査地の住民には、この宗教団体の実態、および外部における評判、評価に関するこのような認識はなかった。

(注21) バランガイ評議会やCSSDOは調査地のバジャウがいくつかのグループに分かれているという情報に欠けるため、この教会による陳情をあたかもバジャウ全体からのものであると認識しがちである。

(注22) 以下で使う「伝統的」という言葉は、正確に言えば、少なくともダバオ市移住以前において彼らの価値観、生活様式であった、という意味である。時

間的にどこまで遡れるか、という点については、今後の研究課題としたい。

(注23) フィリピンは途上国の中でも就学率、識字率が高い。ダバオ市の貧困層居住区である調査地においても、筆者による「基礎的世帯調査」の結果によれば、30～49歳層にある住民の平均就学年数は、バジャウ(サンプル数206)の0.6年に対して、セブアノ(同270)は8.2年、タウスグ(同55)は8.1年、マラナオ(同48)は7.7年、ラミヌサ(同16)は9.8年という大きな差があった。

(注24) 本稿で検出した5つの生業グループの差異や特性について、とくに経済的福祉とエスニック・アイデンティティの観点から比較分析したものとして、青山(2001)を参照。

文献リスト

<日本語文献>

- 青山和佳 1997. 「ミンダナオの経済開発とムスリム——ムスリム・コミュニティ調査にむけて——」(富士ゼロックス小林節太郎記念基金・小林フェローシップ1996年度研究助成論文).
- 2001. 「ダバオ市におけるバジャウの都市経済適応過程——経済的福祉とエスニック・アイデンティティの観点から——」『東南アジア研究』38(4): 552-587.
- 内田治 1997. 『すぐわかる SPSS によるアンケート調査・集計・解析』東京図書.
- 鶴見良行 1998. 「海を渡る人々——島嶼東南アジアにおける観察——」秋道智彌編著『海人の世界』同文館 395-413.
- 中西徹 1991. 『スラムの経済学——フィリピンにおける都市インフォーマル部門——』東京大学出版会.

<英語文献>

- Akamine, Jun 1997. "Notes on Sinama Language: Phonology, Orthography, and Word-list." *Journal of Sophia Asian Studies* (15).
- Arce, Wilfredo F. 1963. "Social Organization of the Muslim Peoples of Sulu." *Philippine Studies* (Ateneo de Manila University) 11(2): 242-266.

- Bottignolo, Bruno 1995. *Celebrations with the Sun: An Overview of Religious Phenomena among the Badjaos*. Quezon City: Ateneo de Manila University Press.
- Eder, James F. 1982. *Who Shall Succeed?: Agricultural Development and Social Inequality on a Philippine Frontier*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Lapian, Adrian B. and Nagatsu Kazufumi 1996. "Research on Bajau Communities: Maritime People in Southeast Asia." *Asian Research Trends: A Humanitarian and Social Science Review* (6): 45-70.
- Lynch, Frank, S. J. 1959. *Social Class in a Bikol Town*. Research Series No.1, Philippine Studies Program, Department of Anthropology, University of Chicago.
- Nagatsu, Kazufumi 2001. "Pirates, Sea Nomads or Protectors of Islam?: A Note on 'Bajau' Identifications in the Malaysian Context." 『アジア・アフリカ地域研究』第1号: 212-230.
- Nimmo, H. Arlo 1968. "Reflections on Bajau." *Philippine Studies* (Ateneo de Manila University) 16(1): 32-59.
- 1990. "Religious Beliefs of the Tawi-Tawi Bajau." *Philippine Studies* (Ateneo de Manila University) (38): 3-27.
- Sather, Clifford A. 1978. "The Bajau Laut." In *Essays on Borneo Societies*. ed. V. T. King. Hull monographs on Southeast Asia No.7. London: Oxford University Press. 172-192.

[付記] フィールド・ワークの一部は、富士ゼロックス小林節太郎記念基金小林フェローシップから研究助成を受けて実施された。調査研究の枠組み作りにあたっては、1997年10月から2001年9月まで客員研究員として所属を許していただいたアテネオ・デ・マニラ大学フィリピン文化研究所から多大な協力を得た。また本稿作成にあたっては、レフェリーによるコメントに多くを負っている。記して深く感謝したい。

(東京大学大学院経済学研究科助手)